

路地百選推薦書

推薦者氏名：鈴木 隆男

推薦する路地（のまち）の名称	JR 亀有駅南口こち亀の路地
所在地	東京都葛飾区亀有 2 丁目

【推薦する理由（路地のよいところ）】

JR 亀有駅南口には、亀有銀座商店街（振）・亀有中央商店街（振）・亀有リリオ商店会・亀有上宿商店会の 4 商店街が、協力して活性化に努力している。

亀有公園前派出所に勤務する警察官の両津勘吉（りょうつ かんきち）を主人公とし、その同僚や周辺の人物が繰り広げるギャグ漫画の舞台である。

南口の亀有銀座商店街（ゆうろード）、亀有中央商店街の一体に、路地が広がる。

「ゆうろード」には、こち亀のドラマや映画でおなじみのスポットになった「亀有食品市場」がある。警察官の両津勘吉やその仲間が活躍した路地である。

【写真添付】

		
	<p>中央：両津の子供時代 右上：花屋の路地 左上：市場の横の路地 左下：亀有食品市場 右下：両津巡査と仲間たち</p>	

路地	面積	約 h a	路地の延長	約
のまちの概要	成り立ち、特色等	江戸時代は水戸街道の一里塚が置かれ交通の要衝であったが、大部分は明治になってもひなびた農村だった。明治に入り、1889 年の町村制施行に伴う再編でその大部分は青戸村と合併し亀青村の一部となった。1919 年に日本紙器製造亀有工場、1938 年には日立製作所亀有工場が進出するなど、大正以降、特に関東大震災以降に工業地域として発展した。1932 年に亀青村が東京市に編入され、地域は新たに成立した葛飾区の一部となった。 第二次世界大戦では被害がほとんどなかったため、戦後は都心部から人口が流入し、急速に住宅地化が進んだため、農道がそのまま生活道路になったようである。		

※路地のまちの概要は記入できる範囲で結構です。それぞれの枠の大きさは各自で調整願います。